



2024年12月期 第1四半期

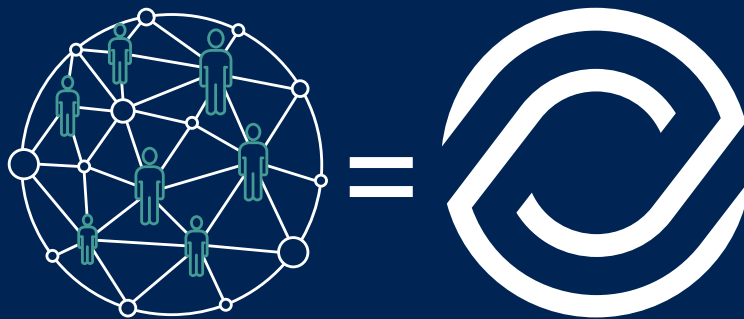
決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE FIRST QUARTER 2024

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーとweb3/DAOに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

当社事業概要



カープアウト企業および投資先企業の株式売却益を
新規事業・投資先へ再投資

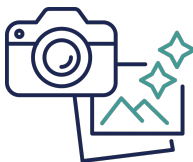


2024年12月期 第1四半期 : ソーシャルメディアサービス事業

統合型マーケティングの取り組みが加速
クリエイティブ、データ分析、さらにプランニング機能を強化



データ分析



クリエイティブ



プランニング

複数のSNSを横断し、統合的に企画・運用
ナショナルクライアントを中心に安定して受注を積み重ねる



2024年12月期 第1四半期 : ソーシャルメディアサービス事業

子会社スナップマーケット株式会社と GENIC LAB事業を統合し、社名を「株式会社 CREAVE」へ変更
顧客と企業がより密接に関わり体験を分かち合う「価値共創マーケティング」を強化



社名	株式会社 CREAVE
社名変更日	2024年2月1日
代表者	中村真奈
事業内容	SNSコンサルティング事業 クリエイターマーケティング事業 ストックフォト事業

2024年12月期 第1四半期 : ソーシャルメディアサービス事業



《子会社》株式会社CREAVE

emole株式会社と連携しショートドラマ制作プランを開始

コンテンツ内に製品やサービスを自然に組み込む「プロダクトプレイスメント」を活用し、SNS上での効果的なブランド認知拡大と好感度醸成を可能に



パナソニック社のロボット
「NICOBOT」を題材とした

オリジナルショートドラマを公開!

emole × NICOBOT



サービス提供の流れ

2024年12月期 第1四半期：インキュベーション事業

スタートアップ育成5か年計画で増加する全国の自治体の起業家輩出支援、
web3/DAOコンサルティングを中心に提供



2024年12月期 第1四半期: インキュベーション事業 (web3/DAO)



DAO組成・運用プラットフォーム「DAOX(ダオエックス)」
オープンベータ版を提供開始

組成から運用までの実務をワンストップで実現。
これまで必要とされた、複数サービスの導入・組み合わせを不要に。また、活性度の把握など、DAOコミュニティの運用における重要機能も網羅。



DAOの活性度を数値化し一元管理する
ダッシュボード

構築

NFT販売
(クレカ決済・暗号通貨決済)

ウォレット自動生成

NFT自動送付

運用

ダッシュボード

トレジャリー

エキサイトメント数値
(DAO活性度指標)

タスク管理

貢献に応じた
リワード付与

リワード→NFT自動変換

チャット・掲示板

投票・議決

2024年12月期 第1四半期: インキュベーション事業 (web3/DAO)

合同会社型DAOの解禁に向けた準備実施

金商法に対する内閣府令の改正により、4月22日から解禁された合同会社型DAOにおいて、他社に先んじての活用に向け準備を進める。

結果、DAO型シェアハウス「Roopt DAO」の合同会社型DAO化や、大学DAO「iU DAO」につながる。



合同会社DAO化を決めたRoopt DAOは、神楽坂拠点が開業から1年で売上1.7倍&利益率の大幅改善を達成

2024年12月期 第1四半期: インキュベーション事業(起業支援)

スタートアップ育成5か年計画を背景に国・自治体・金融機関・大学等から受注した案件を進め、
また起業やスタートアップの関係人口を増やす取り組みを継続

FUKUOKA STARTUP ELITE

福岡市主催、急成長を目指す起業家輩出プログラム「FUKUOKA STARTUP ELITE」にて、デモデイを開催
プログラム期間中、1名が2000万円のシード資金を獲得



U25世代向けスタートアップイベント
『TORIYUMON TOKYO 2024 Winter Powered by ガイアックス』を開
催、過去最多となる400名超が来場

2024年12月期 第1四半期: インキュベーション事業(起業支援)

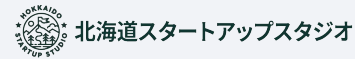
スタートアップ育成5か年計画で増加する自治体からの案件受注を継続
これまでも定期的なメディア露出のほか、別の受託案件や DAO事業に発展・貢献

STARTUP SEMINAR
起業ゼミ

学校など教育機関からの案件受託

GaiaX
STARTUP STUDIO

自治体の案件受託



ほかさまざまな
案件に貢献へ

2024年12月期 第1四半期 出資先動向



《出資先》住んだ分の家賃で暮らせる部屋「unito」を運営する株式会社Unito
シリーズCラウンドで総額3.5億円の資金調達を実施

株式会社ベクトル、HAKUHODO DY FUTURE DESIGN FUND、大東建託株式会社、みずほ成長支援第5号投資事業有限責任組合を引受先とする第三者割当増資により、シリーズCラウンドで総額3.5億円の資金調達を実施。創業からの累計資金調達額は約9億円に。



《出資先》多拠点生活プラットフォームを提供する株式会社アドレス
当社子会社である株式会社ロコタビとの提携による海外拠点第1弾の予約受付を開始

第1弾はアジア、オセアニア、北米、中南米、欧州の世界5地域10物件がオープン。海外拠点のADDRESSも国内同様、各家ごとに現地日本人による「家守」を配置。観光目的の海外旅行とは一味違った、「日本人が身近にいる海外暮らし」を実現。



《出資先》カスタマーサクセスソリューション・プロバイダーのアドィッシュ株式会社
MaaS領域のカスタマーサクセス支援

国土交通省「地域交通共創モデル実証プロジェクト」に選定された、共創型こども相乗りタクシー実証事業「hab」のカスタマーサクセス・カスタマーサポートを連結子会社が担当。

2024年12月期 第1四半期 振り返り

連結業績

売上高:	767百万円	前年同期比:	27.2%増
営業損益:	△1百万円		

ソーシャルメディアサービス事業

売上高:	554百万円	前年同期比:	15.5%増
営業損益:	89百万円	前年同期比:	5.9%減

インキュベーション事業

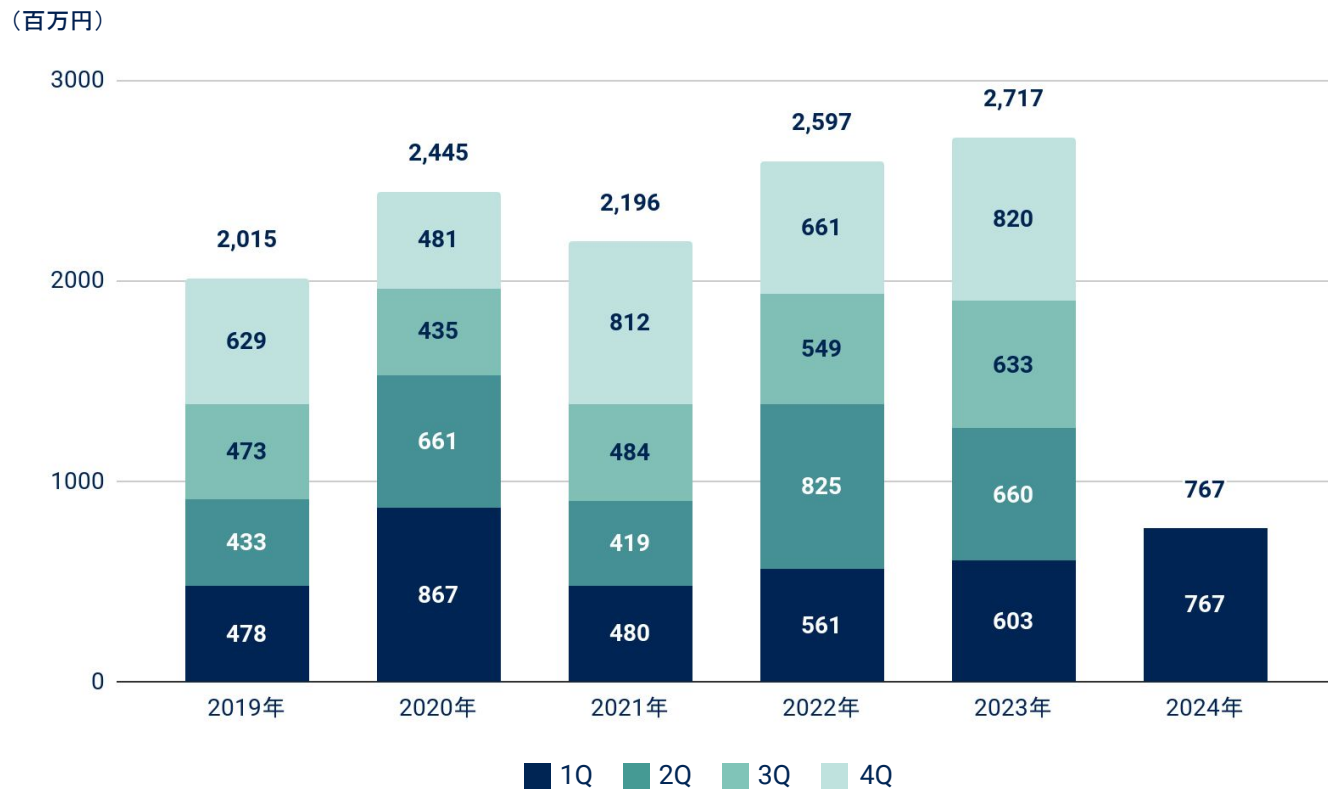
売上高:	212百万円	前年同期比:	66.1%増
営業損益:	7百万円		

連結売上高の推移

ソーシャルメディアサービス事業における、SNSを中心とした統合型マーケティング支援は引き続き堅調

また、2023年度の自治体受託案件の多くを自治体会計年度末(当社2024年12月期第1四半期)に計上

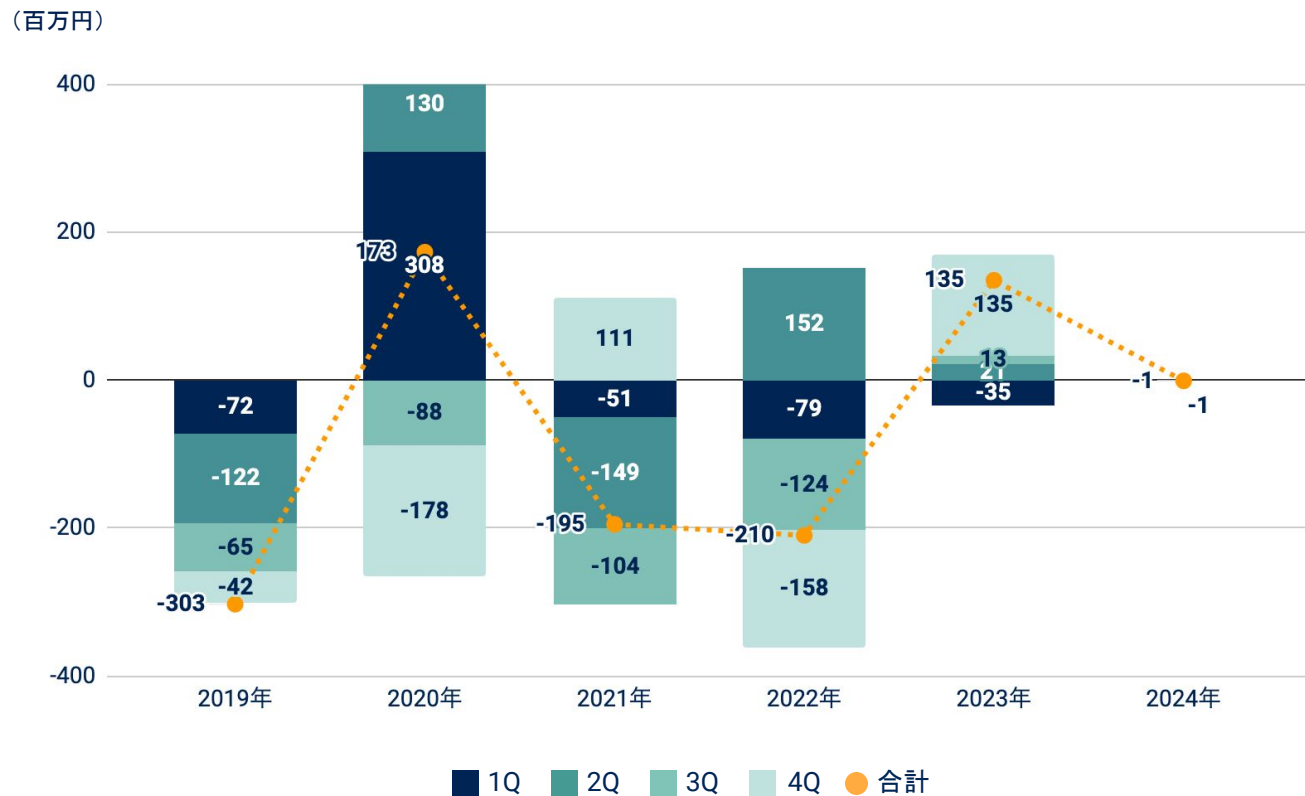
アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



連結営業損益の推移

今後の受注増を想定した体制
増強のための人件費および
広告宣伝費の増加、また営業
投資有価証券の評価損約 39
百万円の計上により、営業損
失1百万円に着地

アディッシュ株式会社およびその子会社は
2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月
に連結除外となっております。



2024年12月期 第1四半期 連結PL(四半期会計期間比較)

助成金収入等により営業外収益 11百万円を計上

単位:百万円	2023年12月期 第1四半期	2024年12月期 第1四半期	YoY	2023年12月期 第4四半期	2024年12月期 第1四半期	QoQ
売上高	603	767	+27.2%	820	767	-6.5%
売上総利益	360	415	+15.3%	562	415	-26.3%
販売費及び一般管理費	395	417	+5.5%	427	417	-2.4%
営業損益	△ 35	△ 1	-	135	△ 1	-
経常損益	△ 33	10	-	139	10	-92.4%
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 33	9	-	140	9	-93.0%

2024年12月期 第1四半期 連結B/S

2023年度分の自治体受託案件の着
金ずれおよび小規模事業買収により
現預金が減少

単位:百万円	2023年12末	2024年3末	増減
流動資産	1,898	1,785	△ 112
現預金	681	454	△ 227
受取手形・売掛金	320	448	+ 127
仕掛品	104	46	△ 57
営業投資有価証券	746	725	△ 21
その他	45	110	+ 64
貸倒引当金	0	0	0
固定資産	109	276	+ 167
有形固定資産	26	25	0
無形固定資産	64	155	+ 91
投資その他の資産	19	96	+ 76
総資産	2,008	2,062	+ 54
流動負債	462	530	+ 67
支払手形・買掛金	79	115	+ 35
短期・1年内返済長期借入金	17	18	+ 1
その他	366	396	+ 30
固定負債	214	211	△ 2
長期借入金	52	48	△ 4
繰延税金負債	161	163	+ 2
その他	0	0	0
純資産	1,331	1,320	△ 10
株主資本	902	887	△ 15
その他の包括利益累計額	411	416	+ 4
新株予約権	16	16	0
非支配株主持分	-	0	0
負債純資産合計	2,008	2,062	+ 54

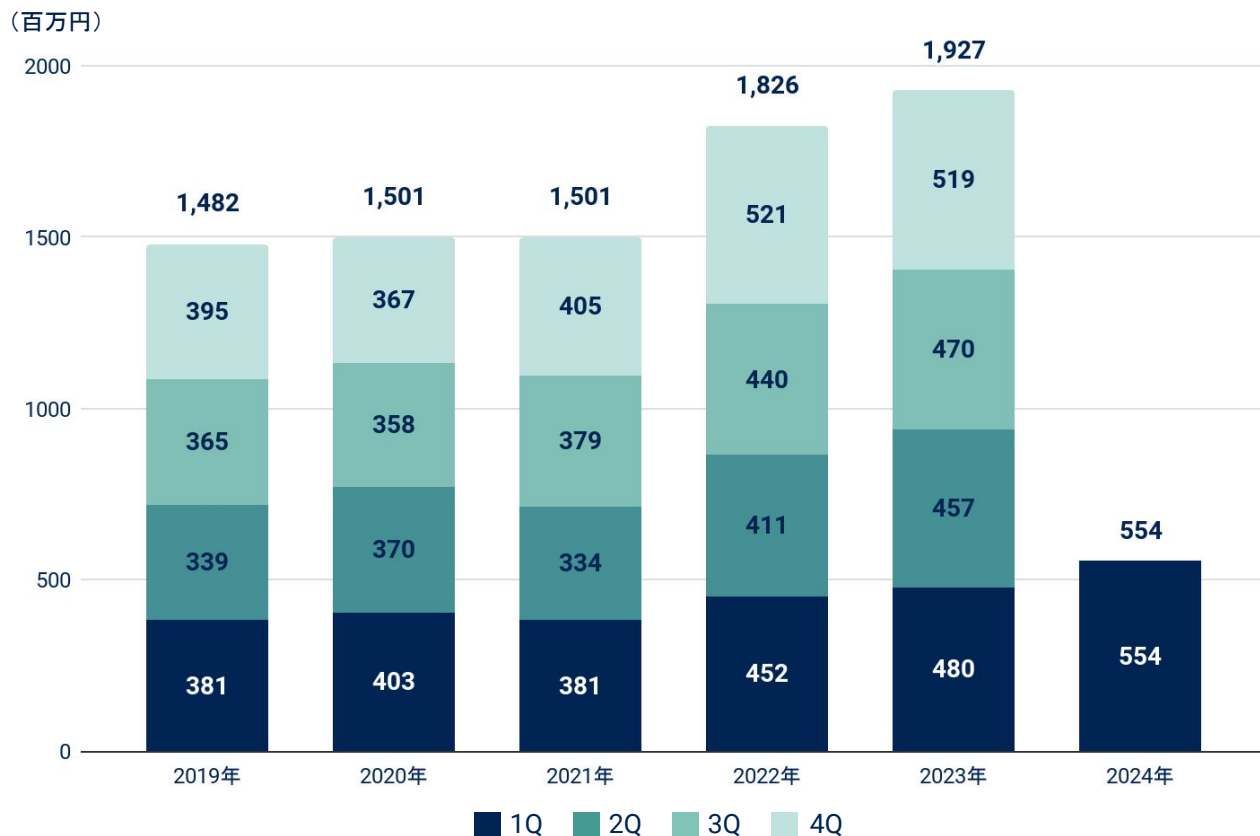
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディア サービス事業 連結売上高の推移

複数SNS等を横断する統合型マーケティング支援へとサービス拡張したことによる受注増にて、売上高増加

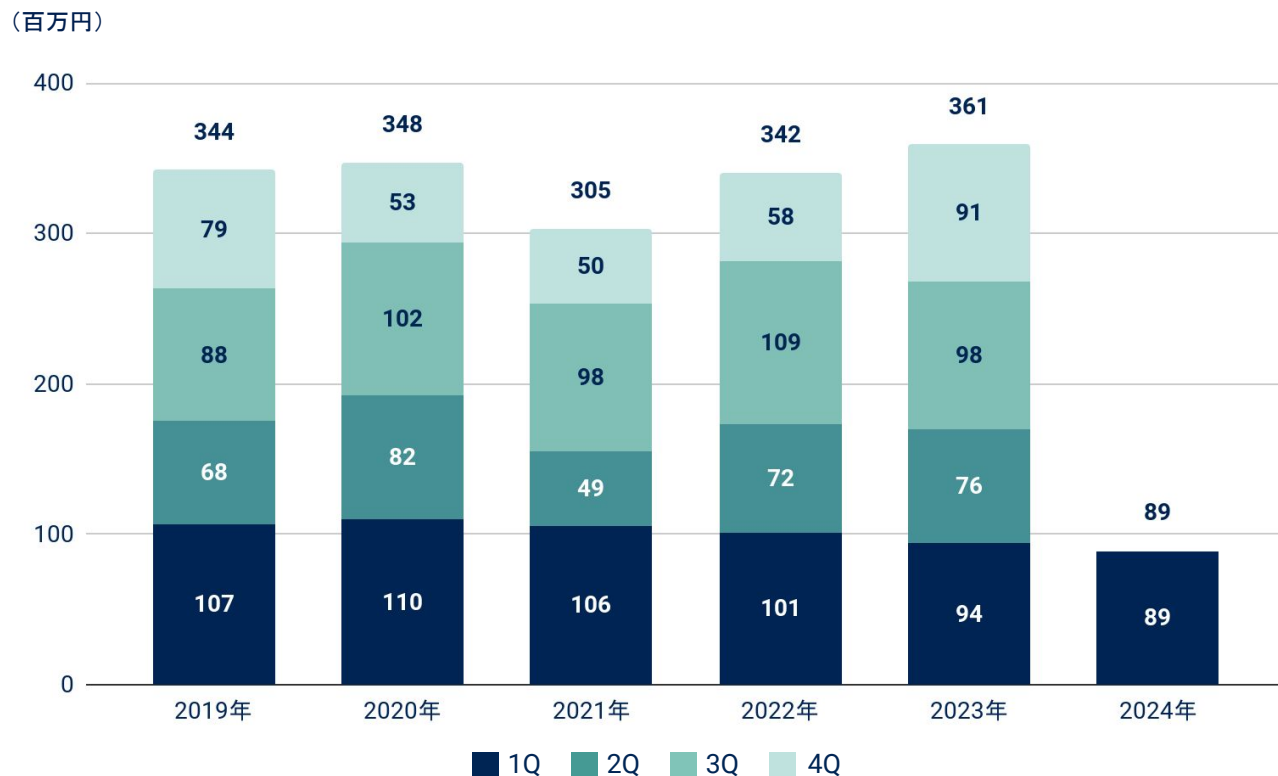
アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



ソーシャルメディア サービス事業 連結営業損益の推移

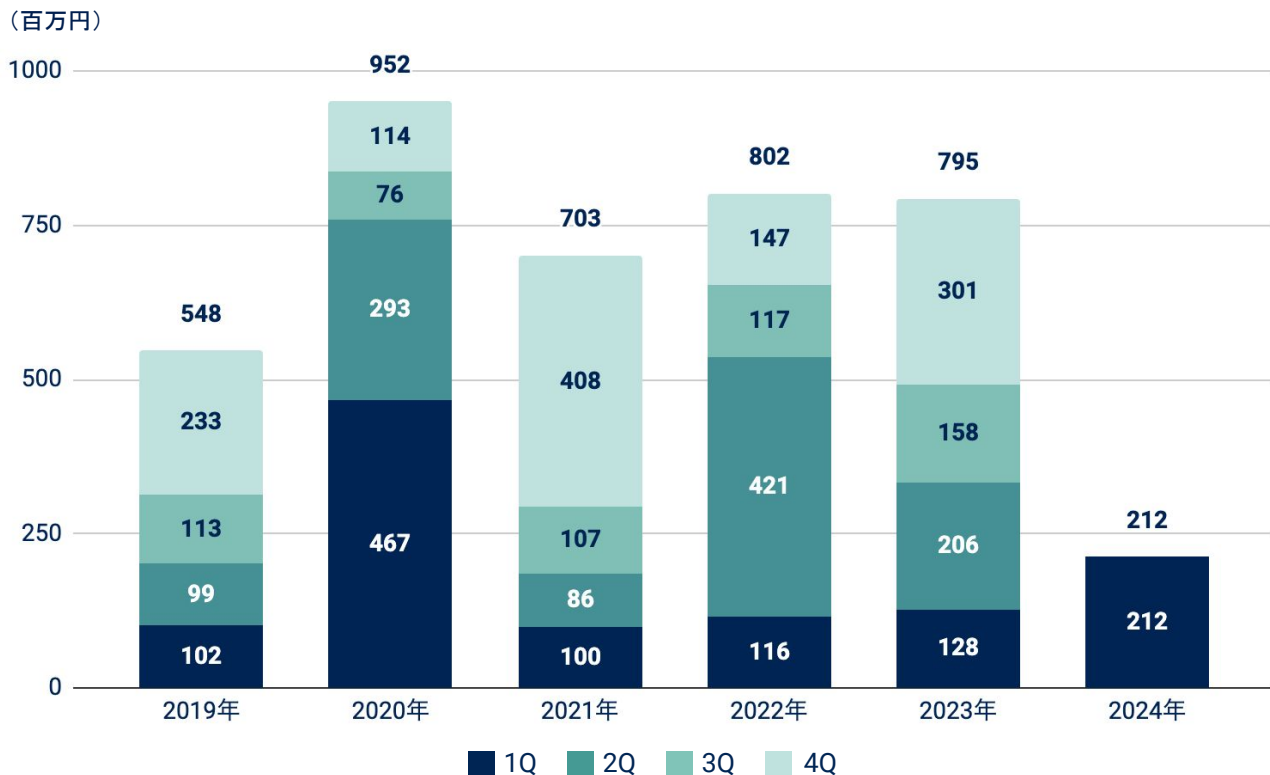
今後の受注増を想定した体制増強のため人件費、広告宣伝費の増加が利益を圧迫

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



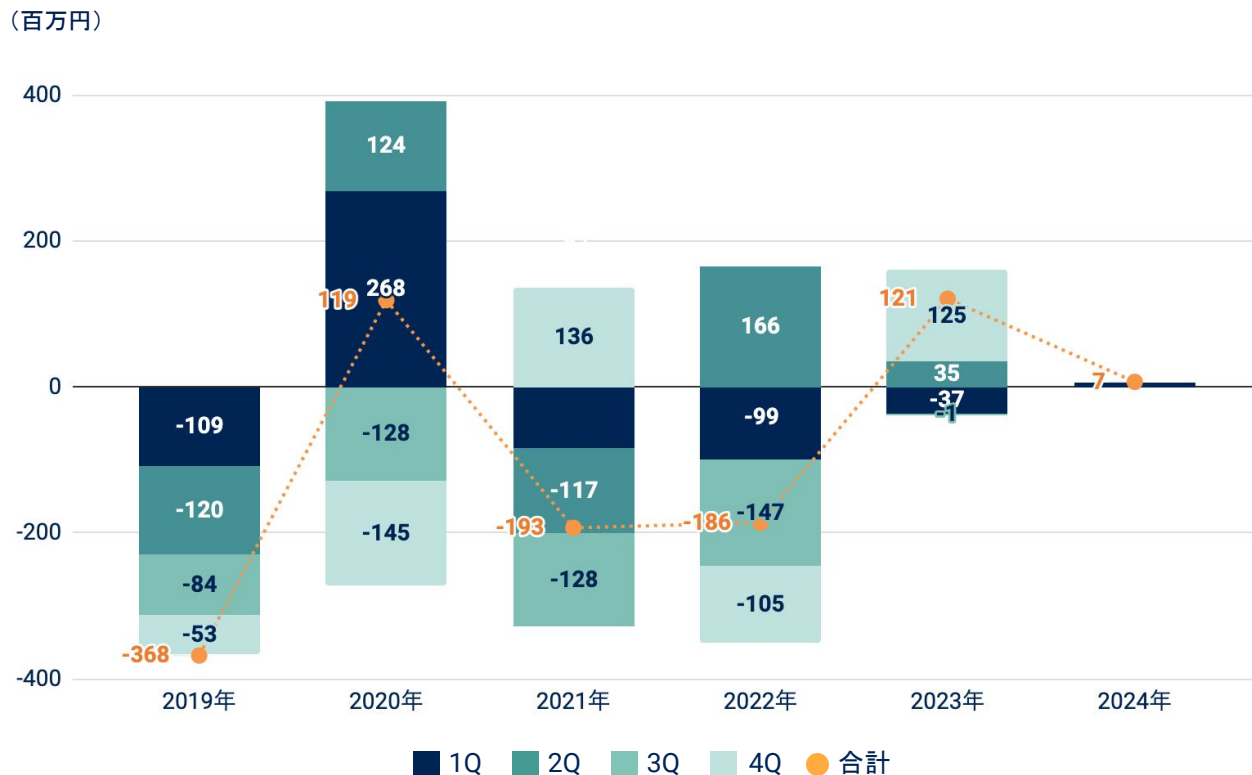
インキュベーション事業 連結売上高の推移

営業投資有価証券の売却
がなかったものの、2023年
度の自治体受託案件の多く
を自治体会計年度末(当社
2024年12月期第1四半期)
に計上



インキュベーション事業 連結営業損益の推移

営業投資有価証券の評価
損約39百万円を計上したも
のの、自治体受託案件の多
くを当四半期に計上し、黒字
着地



2024年12月期 業績見通し

ソーシャルメディアサービス事業については、SNSマーケティング・インフルエンサーマーケティング市場は、引き続き成長が見込まれており、当社がノウハウを蓄積してきた SNS運用代行・マーケティング支援をさらに進化させ、ニーズの高まるビジュアルコンテンツの提供とデータ解析を加えた統合型マーケティングを継続的に提供することで、売上高増加を図ってまいります。

インキュベーション事業においては、政府による「スタートアップ 5か年計画」を受けニーズの高まる自治体のスタートアップ創出支援、教育機関での起業家教育の事業受託を進め、全国各地にスタートアップ支援を展開していく予定です。また、新規事業としてweb3やDAOに注力してまいります。市況は不透明であり、引き続き開発コスト及び人件費等が先行する想定です。

単位:百万円	2023年12月期	2024年12月期	YoY
売上高	2,717	2,970	+9.3%
営業損益	135	120	△ 11.1%
経常利益	152	110	△ 27.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	279	100	△ 64.2%

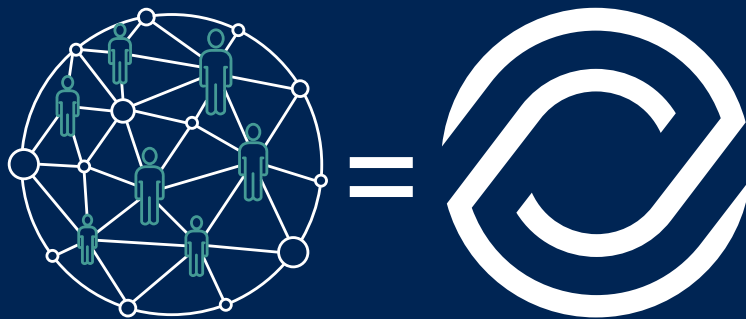
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーとweb3/DAOに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

人と人がつながる社会とは

世界中の誰もが、他人のことを自分のことのように感じ、
互いが互いを自然と助け合う社会



現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



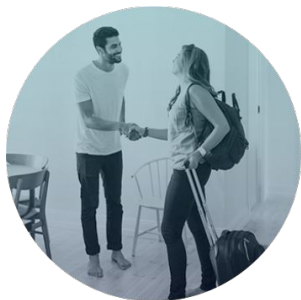
大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

現在の社会課題



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



資源の再分配



コミュニティの創生

シェアリングエコノミー、web3/DAOで持続可能な社会を作る

事業領域

最先端のテクノロジー・市場分野を通じて「人と人をつなげる」を加速させるため、生活者同士の情報や感情を共有できる **ソーシャルメディア領域**、モノや時間を共有できる **シェアリングエコノミー領域**、連続的な起業家輩出を支援する **STARTUP STUDIO領域**、ブロックチェーン技術により自律駆動する社会を実現する **web3・DAO領域**に注力しています。



SOCIAL MEDIA SHARING ECONOMY

ソーシャルメディアコンサルティング、クリエイティブコンテンツ、運用代行やビッグデータリサーチを提供。またCtoCのシェアサービスのプラットフォームを運営しています。



STARTUP STUDIO

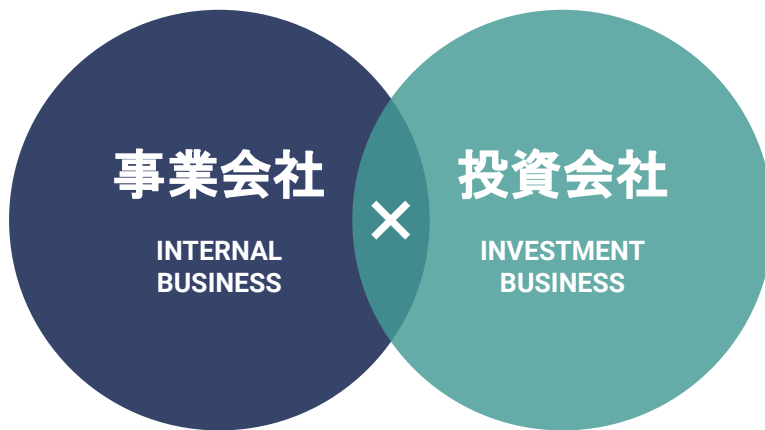
自社での起業家輩出やスタートアップ投資だけでなく、官公庁・自治体・金融機関等への起業家輩出プログラムの支援、中学校・高校のアントレプレナーシップ教育プログラム「起業ゼミ」を提供しています。



web3・DAO

プラットフォーム主体ではなく個人が主体となるプロダクトの開発や、民主的な組織運営を可能とするDAO(分散型自律組織)化を推進するコンサルティング・研修を提供しています。

社内事業と投資事業がハイブリッド型になった カーブアウト機能を持つ独自のビジネスモデル

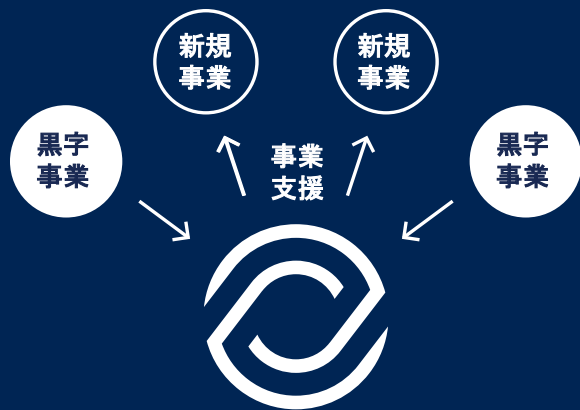


カーブアウト: 会社分割の一種で、親会社が戦略的に子会社や自社の事業の一部を切り出し (carve out)、新会社として独立させること。

GAIAX INTERNAL BUSINESS

事業会社

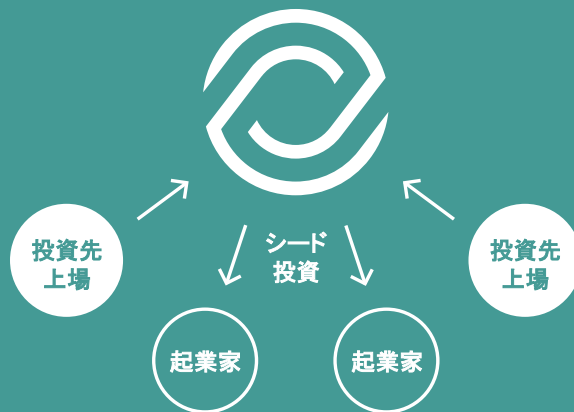
ソーシャルメディアマーケティング事業や
シェアリングエコノミーサービス事業などによる、
事業収益（インカムゲイン）を目指します。



GAIAX INVESTMENT BUSINESS

投資会社

社内外のスタートアップ企業へ投資し、
投資先企業が上場した際に利益を得る
投資収益（キャピタルゲイン）を目指します。



社内から連続的に起業家を輩出

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。

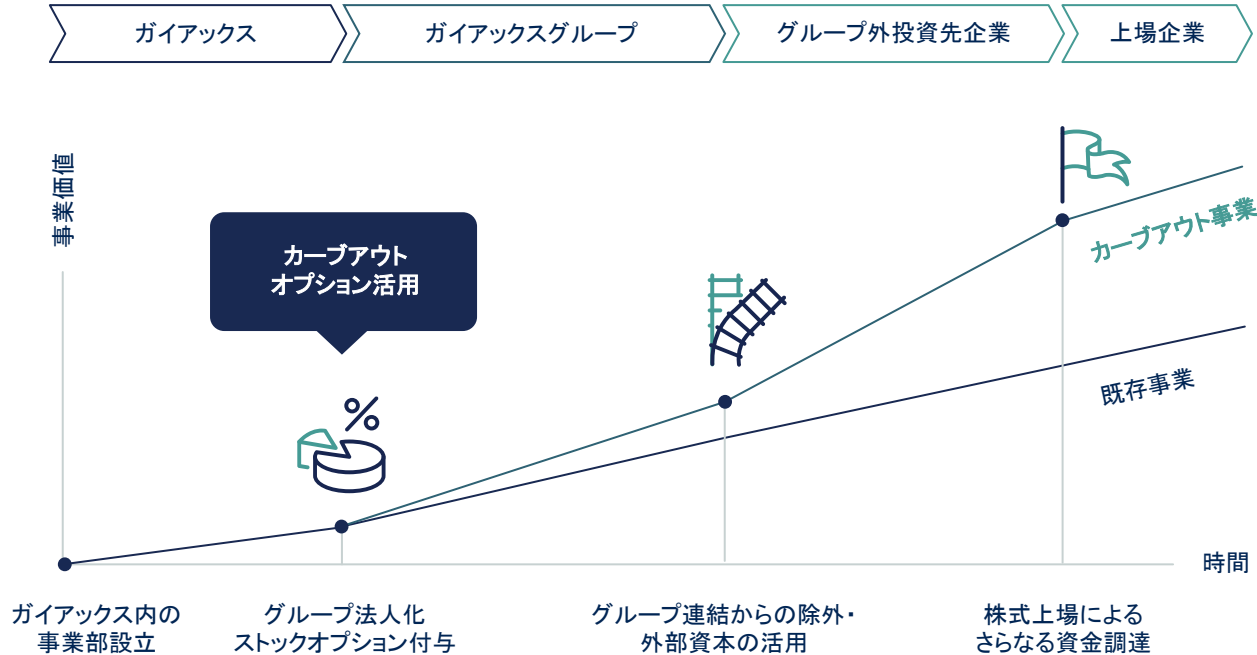


今後、「時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%」を目指す

この実現を目指し、優秀な人材獲得の強化
また、各事業部へのオーナーシップを付与による成長

カーブアウト機能を活用した事業の成長加速

事業単位でカーブアウト(法人化)し、外部を含めたリソースを活用

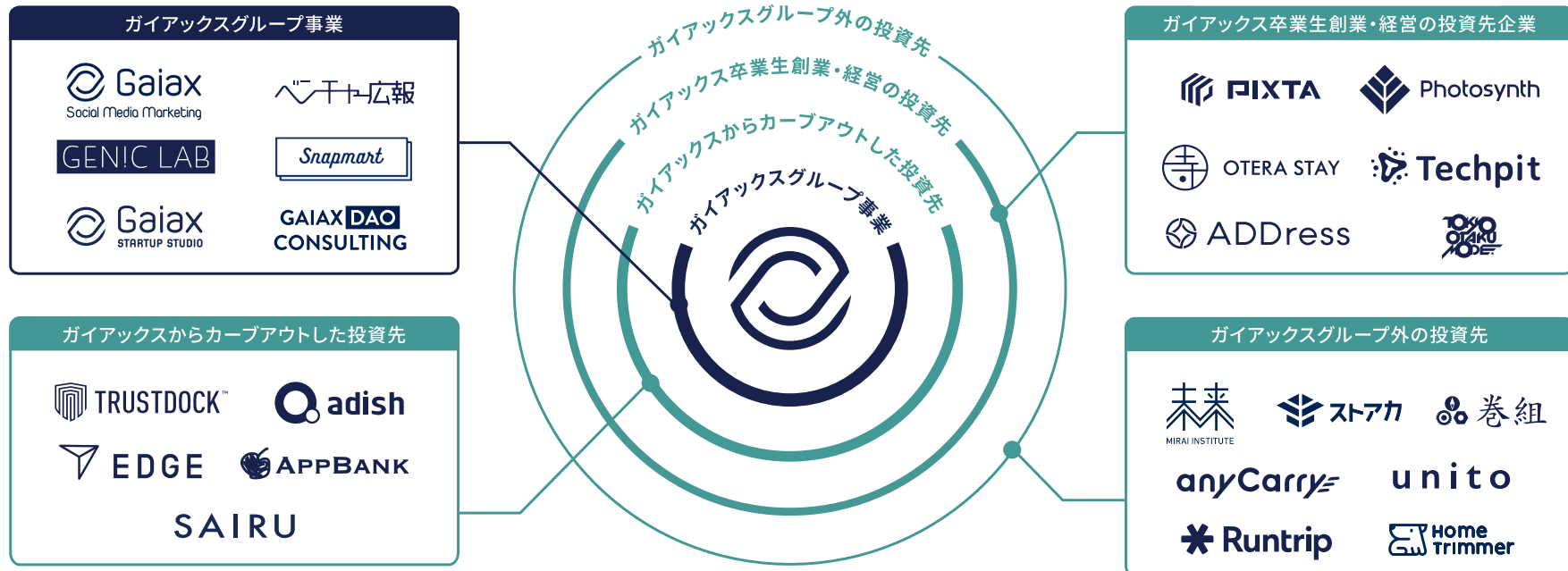


カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



事業会社と投資会社の「ハイブリッドモデル」



※2024年2月1日、子会社スナップスマート株式会社と GENIC LAB事業を統合し、社名を「株式会社 CREAVE」へ変更

※掲載の投資先は一部です。また、過去の投資先(売却済み)を含みます。

中期経営方針

ソーシャルメディアサービス事業 SOCIAL MEDIA BUSINESS

年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業 INCUBATION BUSINESS

コスト
コントロールと
投資規律の徹底

連結売上・利益・配当 CONSOLIDATED PROFIT & SALES

売上 全社経費込みの利益 配当

安定
成長

黒字

継続的
な配当

2023-2027年度 中期経営方針 業績目標

中期経営方針1年目は、売上2,717百万円(計画2,695百万円)、営業利益135百万円(計画50百万円)に着地

■ 連結売上 ● 連結営業損益



株主還元方針

重要経営課題

株主への継続的な利益還元

収益性の向上と経営基盤の強化を推し進め、継続的な配当を目指します。

2024年12月期
期末配当額(予定)

5円

長期的な
利益成長重視



長期的な成長を
目指しつつ安定配当へ

流動性向上
も目指す

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

インキュベーション事業の投資注力分野

これからのガイアックスの投資注力分野 web3/DAO



ソーシャルメディア



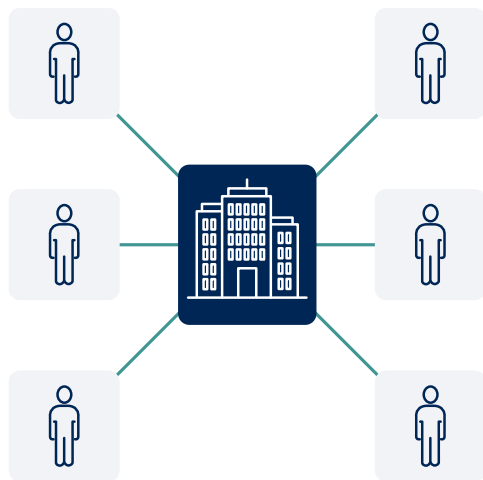
シェアリングエコノミー



web3/DAO

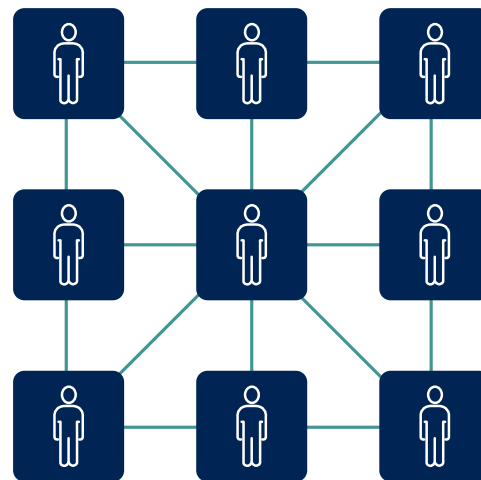
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーの知見を
web3/DAO事業に活かす

web3/DAOの世界が急拡大する



プラットフォームが
信頼性を担保

web2



ブロックチェーンが
信頼性を担保

web3

取り組み事例



巻組
DAOシェアハウス
『Roopt DAO』



Midori.so
DAOシェアオフィス
『CryptoBase』



地方自治体の連合 DAO
美しい村 DAO



総務省・Innovation
DAOで進める
アイデアソン

HAKUHODO
KEY3

博報堂キースリー
企業と顧客の共創型
商品開発ソリューション



日本郵船

日本郵船
社内DAO

MS&AD 三井住友海上

採用を透明化
三井住友海上
DAO型採用

大手企業との
実績あり
* 情報公開前の
ため、明記不可

web3/DAOで、従来のビジネスのマーケティングも変化

web2

ブログ、SNS

ロコミ



web3

ユーザーとの共創

行動(参加)

DAO

Decentralized Autonomous Organization

分散型自律組織

=

多くの人が参画し共創できる仕組み

貢献

報酬

投票



より一層SNSはじめ、ファン・コミュニティのマネジメントが重要に
つまり、ソーシャルメディア活用支援事業の拡大

ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーの知見をweb3/DAOに

ソーシャルメディア活用支援事業

10年

サービス開始

1,000社

累計支援実績

600社

運用実績

シェアリングエコノミー事業

DAO活用事業およびDAO化支援事業

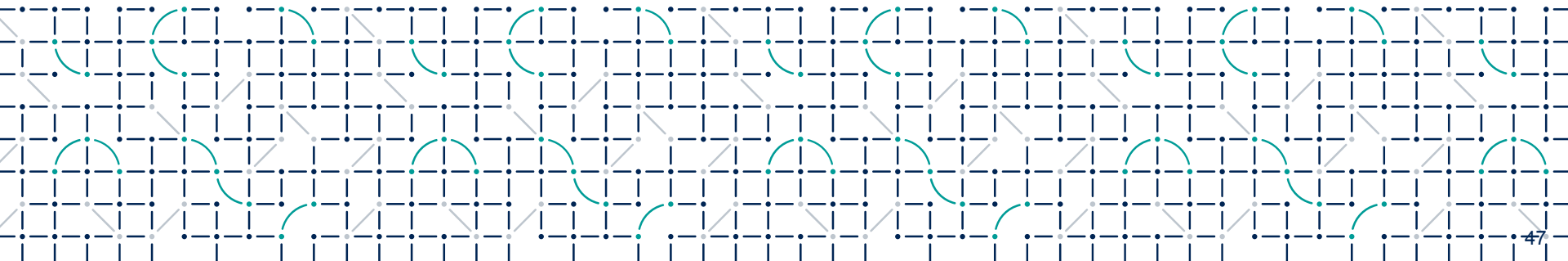
人と人がつながる社会を実現

注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



APPENDIX



会社概要

2024年3月末時点

会社名	株式会社ガイアックス Gaiax Co.Ltd.	従業員数	137名 (連結・正社員)
企業理念	ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。	事業内容	・ソーシャルメディアサービス事業 ・シェアリングエコノミー事業 ・インキュベーション事業 ・web3/DAO事業
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	上場市場	名古屋証券取引所 ネクスト市場 証券コード 3775
設立	1999年3月5日	発行株式数	5,337,452株
資本金	100百万円	株主数	2,263名 (2023年12月末時点)
本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3 MIDORI.so NAGATACHO	決算	12月

インキュベーション事業 投資先パイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリューアップ

CO-NECT

Web受発注システム

TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

SHARE CYCLE
COLOGIC

シェアサイクル

SPACEE

会議室シェア

Techpit

プログラミング教材

someite

アップサイクル

Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

Runtrip

ランニングシェア

NOKI SAKI
BUSINESS

スペースシェア

anyCarry

シェア型のデリバリー

OTERA
STAY

寺社民泊体験

MIRAI INSTITUTE

シェアオフィス

つなげと

体験シェアアプリ

SAIRU

マーケティング支援

DogHuggy

ペット版民泊

ストアカ

まなびのマーケット

KAMADO
OUR ART IN OUR TIME

アートxweb3コミュニティ

巻組

空き家活用シェアハウス

ADDRESS

多拠点居住サービス

APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

unito

サブスク住居

Timee

ワークシェアアプリ

百戦
錬磨

地域民泊

EDGE

社内SNS・働き方支援

Home
Trimmer

自宅出張トリミング

Anyflow

iPaaS
(Integration Platform as a Service)

PIXTA

2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。



シェアリングエコノミー・web3/DAO市場への取り組み

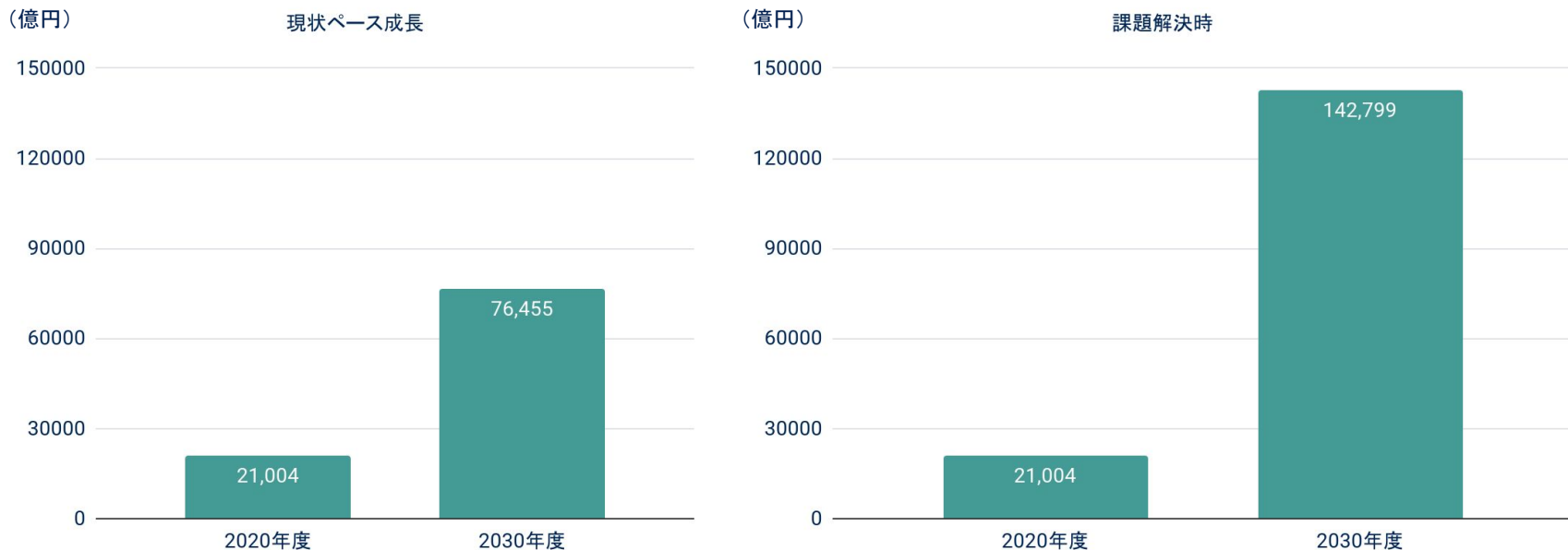
SNSを起点に拡大するシェアリングエコノミー、DAO領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

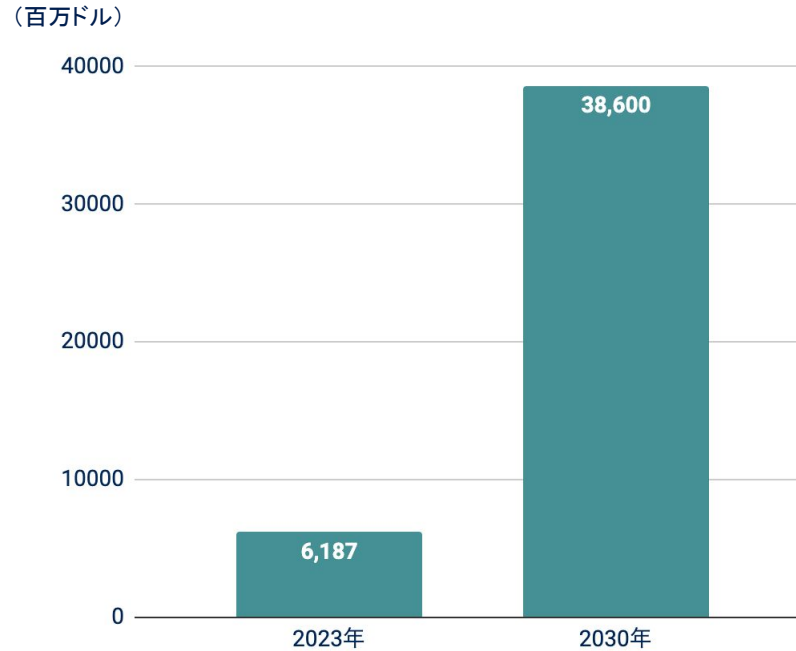
法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に14兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

爆発的な拡大が見込まれるweb3市場

web3の世界市場は2023年に61億8730万ドル(約7,000億円)の見込み
年平均成長率44.6%のもと、2030年には386億ドル(約42兆円)に達する予測



※ Web 3.0 Blockchain Market Research Report Information By Blockchain Type (Public, Private, Consortium and Hybrid), By Application (Cryptocurrency, Conversational AI, Data & Transaction Storage, Payments and Smart Contracts) By Vertical (BFSI, E-commerce & Retail, Media & Entertainment, Healthcare & Pharmaceuticals and IT & Telecom), and By Region (North America, Europe, Asia-Pacific, and Rest Of The World) - Forecast Till 2030